

おぢかこうみんなんだより

第177号 令和3年4月5日発行

「見たこつなかつたてん良かったあ〜」

熟年大学第5回講座「小値賀の動画を見る会」及び閉講式

桃始笑(ももはじめてわらう)3月の10日、公民館事業熟年大学第5回講座及び閉講式を行いました。コロナ感染症予防のため入り口で検温、手指の消毒。「ぬくうなりましたな」春の訪れとともにみなさんも元気。そして、どの方も笑顔、笑顔、笑顔。熟年大学が、楽しみようです。

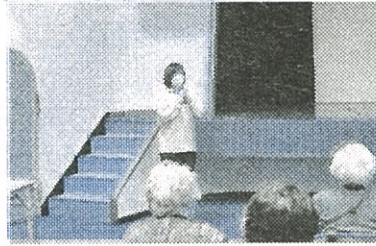
講師は、地域おこし協力隊の小出 静さん。その日の講座内容は、小出さんが撮影・編集しインターネットYouTubeにアップした動画を見る会です。YouTubeには、小値賀に関する動画がたくさんあげられていますが、高齢者の方のほとんどが見たことがないという人ばかりなので「動画を見る会」を計画しました。

動画のトップバッターは、「小値賀弁ラジオ体操」小値賀弁の号令に合わせて各地域・団体の方々体が体操をする動画を見て、笑ったり一緒に体操をしたりして、にぎやかなスタートとなりました。続けて、「ちかはな吹奏楽団」「小値賀少年少女合唱団」「かけはし剣舞会」「寿美栄会」「さわらび太鼓」のみなさんの演奏、演舞を拝見しました。最後に「小値賀弁上を向いて歩こう」を一緒に口ずさみながら見て、コロナ感染症対策を今一度確認しました。

動画の合間に小出さんにインタビューしましたが、小値賀の良さ・魅力をしっかりと語られ、あらためて気づかされた方も多かったようです。また、松枯れの話から「小値賀の今をしっかりと映像に残したい」という今後の抱負に、期待が大きくふくらみました。みんなで応援しましょう。

そのあと、閉講式が行われ5名の方に皆勤賞が送られ、来年度の再会を期して閉会となりました。帰りには、「映画のごったね」「ヨカ機会じゃった」「見たこつなかつたてん良かったあ・・・」などの声が聞かれました。

※新年度も、熟年大学への登録をお願いします。



暮らした人々の想いにふれながら..

3/14野崎島ウォーキング

コロナ禍で延期となっていたウォーキング大会が、年度末の3月14日、好天に恵まれ17名の参加者のもと元気に行われました。今回は、瀬渡し船で舟森にわたり集落跡を見学し、山道を野首まで歩いて昼食。その後、野崎港までの全行程約8kmのコース(歩数1万歩余)でした。

積み上げられた石垣や段々畑、住まいの跡や教会跡に、当時の人々の生きる力強さや信教の深さを見るようでした。また、舟森出身の方が参加されていて、当時の暮らしの様子を具体的に聞くことができました。感謝!



春の風物詩..

アオサ採り

水ぬるむ3月、海藻の口開きとなり、稗崎の磯場ではアオサ採りの姿を見かけました。今年のアオサはよく伸びていて採りやすく、色もきれいでした。

磯の香かおる味噌汁が美味しそうですね。春本番!



~図書館からのご案内~

お知らせ

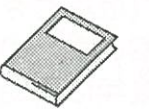
《図書館利用案内》

- 開館時間 : 午前10時から 午後6時まで
- 貸出冊数 : 1人につき 本 10冊、CD 1枚
- 貸出期間 : 13日以内
- 休館日 : *毎週月曜日
*毎月最終金曜日(図書整理日)

新型コロナウイルス対策のため、館内利用は30分以内でお願いいたします。



- ★館内は、土足厳禁となっております。
- ★館内での飲食、喫煙はできません。
- ★館内での携帯電話のご使用はご遠慮ください。
- ★高齢者向けに「本の宅配サービス」も行なっています。まずは、図書館までお電話を! (☎56-271)



おねがい (住所・電話番号が変わられた方へ)

連絡先が変わられた場合は、登録内容の変更が必要です。図書館カウンターへお申し出ください。

遊遊句抄

3月【兼題】霞(かすみ)、紫雲英(げんげ)、自由題

庵寺なる吾寺の階段東風強し	今年まで春田見据える者二人	鳥帰る浜辺の子等の見送る手	鋤きとらる運命の紫雲英哀れ知る	半減だ旅路への町雨の春	霞はれ門出の波止場光さす	地震十年東風に半旗のはためいて	山の端も空に溶けこむ霞かな	貝寄風や港に眠る欠航船	げんげ野にかごめかごめのあの子消ゆ	百鳥の影を散らして春障子	点りゆく街の灯円し夕霞	背の籠に牛の背中に蓮華草	夕霞呆けてしまった哀しみも	孫娘コロナ禍高校卒業す	山笑う光射し込む山路かな	休館の明治のひひな蔵の中	独りにはひとりの覚悟春の雨	朽ちかけし軒下小さき葦草	紫雲英咲く古庭いまやよみがえり	
百笑	増円	利石	一穂	月歩	値賀助	虫砂男	紫紅	香松	松月											

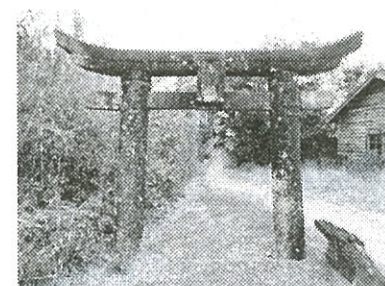
Vol.04 中村地区(舟瀬周辺02)

弓田御前様を後にしてさらに南へと進みます。小さいながらも道端に生き生きと咲き並んだ白や紫、黄色の花たちに春の訪れを感じます。きらきらと湖面を輝かせる双子池を左手に眺めながら進み、舟瀬の浜に通じる小道を抜けると、今回の目的地「天満神社」に到着です。天満神社は天神さまなどとも呼ばれ、菅原道真を祭神に持つ学問・至誠・厄除けの神様として知られます。全国各所に見られ、その数は約12,000社にもものぼるそうです。一般的に総本社は太宰府天満宮と北野天満宮とされますが、このほかにも日本三大天神などもあり、諸説あるようです。お宮にお参りをする前に、まずは鳥居の観察から。県道に面して立つ第1の鳥居は小値賀の石である玄武岩製です。正面向かって右の柱には「菅公一千年祭記念」、左の柱は「明治卅五年八月建 願主小西常蔵」の銘文。菅原道真の千年忌にあたる明治35年(1902)に千年祭が行われたことを知ることができました。さらにお宮に向かって80mほど進むと第2の鳥居があります。これも同じく玄武岩製。銘文がないため建立年は不明です。鳥居をくぐり石段をのぼった先にある境内には2組の石塔と一対の狛犬、石製の手水鉢そして拝殿と神殿があります。狛犬の顔はなんともいえない愛くるしい表情。思わず笑みがこぼれます。石塔はどちらも銘文があるため奉納された年を知ることができます。古い方は安政6年(1859)の銘文があることから、遅くともこの時期にはすでに神社があったことを知ることができます。拝殿は普段から開放されており、誰でもお参りすることができます。お参りを済ませて辺りを見回すと、お供えものなかに何やら不思議な物体を見つけました。黒っぽい色でビー玉を少し大きくしたくらいの大きさ。よく見ると梅干しです。「なぜ梅干し??」とても気になるところです。そのほかには奉納され壁にかけられた絵馬や千羽鶴が目にとまりました。絵馬には「〇〇大学に合格しますように。」奉納品を見て、改めて学問の神様であることを再認識させられました。石塔の年代から見てもすでに幕末にはこの地にあった天満神社。これまで数えきれないほど多くの人々によって願掛けが行われてきたことでしょう。歴史の古さを身を感じながら参道を下り、お宮を後にしました。

次の場所へと向かう途中、偶然お会いした83歳の古老から大変興味深い話を伺うことができました。古老が幼い頃、第1の鳥居が海側に向かって倒れたことがあったそうです。元通りに立て直すか、新たに作り直すべきか。氏子中がまよっていると、当時の神官さんから元通りに立て直すよう、助言を受けたそうです。神官さん曰く「宮に向かって鳥居が倒れていけば(海からあがってきてお宮や村に悪さをする悪霊に対して)鳥居の負け。反対側の海に向かって鳥居が倒れていけば(海からあがってきてお宮や村に悪さをする悪霊に対して)鳥居の勝ち。」とのこと。悪霊を撃退してお宮や村を守った強い鳥居だから、立て直してよいというものです。はじめて聞く話に興味津々。また一つ、小値賀らしい歴史文化に触れることができました。なお、お供え物の梅干しですが、その後、調べたところ、菅原道真が生前自宅に梅を植えて愛でていたことに由来しているようです。(文:平田 賢明)



春の訪れを感じさせる花々



悪霊を追い払ったとされる第1の鳥居



神社の拝殿



願いが込められた奉納品の数々

社会教育・公民館担当が交代します

楽しく充実した日々感謝!

この度、小値賀町公民館長及び小値賀町立図書館長として、2期4年間の任期を終えることとなりました。この間、町民の皆さま方にはいろいろなアドバイスをいただいたり、あたたかな励ましのお言葉を頂戴したりして支えていただきました。誠にありがとうございました。

これまで経験したことのない公民館活動・社会教育の分野の仕事で戸惑いもありましたが、半世紀以上も続く伝統的な行事や講座・体験がとても珍しく新鮮で、楽しく充実した日々を過ごすことができました。また、これまでの伝統行事等に加え「東北震災展」や「戦争と平和展」など新しい取り組みを提起できたことは大きなやりがいでした。さらにまた、たくさん子どもたちや高齢者の方々と関わることができ、第二の天職だったと心から感謝しています。

ただ一つ悔やまれることは、昨年来のコロナ禍でいろいろなイベントや講座などを中止せざるを得なかったことです。緊急事態宣言下で、講座やイベントの再開を心待ちにしている町民の方々の声を聞くたび、公民館活動・社会教育の大事な役割を再認識させられました。一日も早くコロナ感染症が収束し、これまでの日常が戻ることを祈るばかりです。

今後は、公民館活動で学んだことを生かし、自らの地元で少しでも役立てたらと思っています。4年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

山本 千明

平成28年度から社会教育・公民館の担当をさせていただきました。当初は、初めて社会教育の業務に戸惑うことも多かったですが、たくさんの皆さんにご協力いただき事業を実施することができました。昨年からは、コロナの影響により思うように事業が実施できなかったことが心残りですが、5年間本当にありがとうございました。

前社会教育係長 江川 孝太郎

役場を退職して3年、自由気ままに海、野山を散策するのが日課で、楽しい日々を送っていました。今回、公民館、図書館長に就任することに不安はありますが、町民皆さんに満足していただけるような活動を展開していきたいと思っています。町中でお会いしましたら、気軽にお声掛け下さい。よろしくお願いいたします。

尾崎 孝三

4月から小値賀町役場に採用され、教育委員会に配属されました。中村です。役場や教育委員会の仕事はわからないことばかりなので、少しでも早く仕事を覚えて頑張りたいと思います。至らないことばかりだと思いますが、よろしくお願いいたします。

社会教育係(新採用)中村 真布

皆様お久しぶりです。6年ぶりに公民館へ戻ってまいりました。最近ではコロナ禍の影響で生活様式がどんどん様変わりしています。公民館の取り組みについても同様ですが、変えるべきは変え、残すべきは残して、楽しい「学びの場」を提供できるよう新たなメンバーと共に取り組んでまいりたいと思います。改めまして、よろしくお願いいたします。

教育生涯学習班長兼社会教育係長 大田 謙嗣

3月末まで、福祉事務所で放課後子ども教室よりみち塾の運営を担当しておりました。平岡です。この度、教育委員会へ移動となりました。よりみち塾の運営は継続してやっていく予定です。その他にも色々な事業に顔を出したいと思いますので、お声がけいただけますと嬉しいです。新しい環境の中で、柔軟により良い事業になるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

社会教育係(パートタイム)平岡 道呼